

令和5年度 1学期末の学校評価アンケートの結果について



本校では、二つの「目指す子供像」を重点目標として掲げ、アクションプランとして設定しています。

- アクションプラン① 「進んで挨拶することができる」 (達成目標 80%以上)
- アクションプラン② 「自分のよいところと言える」 (達成目標 80%以上)

1学期末・2学期末には、児童と保護者の皆様を対象に、「学校評価アンケート」を実施し、今年度の重点目標をはじめ、学校生活全般について質問しました。このアンケート結果を大切にしながら、今後の学校教育活動に生かしていきたいと思っております。

<児童評価>

項目	評価	項目	A	B	C	D
1	☆	家の人、先生、友達、地域の人に進んで挨拶をしている。 「おはようございます」「はい」「ありがとう」 ※アクションプラン①	54	37	8	1
2	◎	学校に来るのが楽しい。	62	27	7	4
3	◎	自分のよいところ(得意なこと、できること)と言える。 ※アクションプラン②	61	27	9	3
4	◎	「10分間×学年」以上の家庭学習に取り組むことができた。	56	28	12	4
5	☆	授業や休み時間には、友達と仲よく活動している。	80	15	3	2
6	☆	学校行事が楽しい。	75	18	5	2
7	◎	困ったことがあったら、先生に話している。	55	31	11	3
8	☆	時間を守って、しゃべらず、一生懸命に掃除をしている。	63	30	6	1
9	☆	学習や運動、清掃等、何事もやる気をもって取り組んでいる。	63	30	6	1
10	◎	休み時間や放課後に、運動をしている。	62	22	10	6

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

☆：AB合わせて90%以上 ◎：AB合わせて80%以上 ▲：AB合わせて80%未満

【今回のアンケート結果】

アクションプラン	児童	保護者
①「進んで挨拶することができる」 (達成目標 80%以上)	91%	86%
②「自分のよいところと言える」 (達成目標 80%以上)	88%	82%

アクションプラン①、②共に、児童も保護者も目標値に達している。

【アクションプラン①】

児童会を中心に「挨拶名人」の認定を行うなど、挨拶運動に積極的に取り組んでいます。校内では、挨拶を交わす児童が多くみられるようになり、児童の挨拶に対する意識が高まったと考えられます。しかし、相手が地域の方や、学校へ来られるお客さんになると、進んで挨拶ができる児童は多いとは言えません。挨拶することのよさを実感できるように、学校では、挨拶運動を工夫し、継続して指導していきますので、ご家庭でも、日常生活で挨拶を交わす中で、励ましの声かけをお願いします。

【アクションプラン②】

「挨拶名人」や「そうじの達人」の表彰、「自主学習応援広場」等の児童のがんばりを認める場を多く設定したことで、ポイントが高くなったと考えられます。また、今回は「自分のよいところ」の具体的な例を挙げ、「得意なこと、できること」等の小さなことでも、自分のよいところであると認識できるようにしました。学校では、毎日の授業や学校行事等を通して、一人一人の児童の実態をしっかりと捉え、自分のよいところを自覚できる具体的な声かけを継続していきたいと考えています。保護者の皆様も、お子さんが頑張っている姿や成長したところを認め、励ますようお願いいたします。

<保護者評価>

項目	評価	項目	A	B	C	D
1	◎	子供は、家族や地域の人、先生や友達に進んで挨拶することができる。 「おはようございます」「はい」「ありがとう」 ※アクションプラン①	43	43	12	2
2	◎	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている。	56	33	9	2
3	◎	子供は、自分のよいところ(得意なこと、できること)と言える。 ※アクションプラン②	43	39	15	3
4	▲	子供は、「10分間×学年」以上の家庭学習に集中して取り組んでいる。	35	39	20	6
5	☆	子供は、友達と仲よく活動したり、遊んだりしている。	71	25	4	0
6	☆	子供は、学校行事を楽しみにして、活発に取り組んでいる。	69	26	4	1
7	◎	子供は、困ったことがあったら担任の先生に話している。	35	47	15	3
8	▲	子供は、家庭で進んでお手伝いをしている。	27	43	25	5
9	◎	子供は、何事にも前向きに取り組んでいる。	39	46	14	1
10	☆	子供は、よく体を動かして元気に遊ぶことが多い。	65	25	9	1

◆ 項目4「『10分間×学年』以上の家庭学習に取り組むことができた」については、児童は84%と達成していますが、保護者では74%と低い傾向にあります。学校で学習したことを復習することによって学習内容が定着します。また、毎日の積み重ねが、結果に結び付きます。子供たちのがんばりを認めながら、学習内容や質についてお子さんと話し合い、家庭学習の充実を図っていきましょう。



◆ 項目8「時間を守って、しゃべらず、一生懸命に掃除をしている」(児童)、「子供は、家庭で進んでお手伝いをしている」(保護者)では、児童の評価と保護者の評価が分かれています。質問内容が違うものの、継続的に役割をもたせ、学級の一員として、家族の一員としての自覚をもつことができるよう働きかける必要があります。ご家庭でも曜日や時間を決めて、お手伝いをお願いしてはどうでしょうか。